



社会福祉法人 イエス団

くずは光の子保育園（キリスト主義の乳幼児保育施設）

イエス団は、イエスキリストの生き方に従い、その生涯を最微者（いと小さき者）のために捧げた賀川豊彦（1888～1960）によって創設されました。
未来の社会を築くのは子どもたちだと保育の大切さを唱えられ、保育園をはじめとした児童施設やハンディキャップをもった人たちの福祉施設、また老人施設まで幅広い事業を展開し、現在では関西圏を中心に40の施設で活動を進めています。

基本理念

保育目標

（イエス団憲章）

私たちは、賀川豊彦が実践したセツラー（地域に生きる人々と共に歩む者）の精神を引き継ぐ。
私たちは、自立と相互扶助を目指した開拓的・実験的事業の精神を引き継ぐ。
私たちは、地域を越え、国境を越えて共に生きる平和な世界の実現に努めた精神を引き継ぐ。

保育理念

（ミッションステートメント 2009）
わたしたちイエス団の実践は、1909年12月24日の賀川豊彦の献身に始まる。
そして、イエスの愛に倣い、互いに仕えあい、社会悪と闘い、新しい社会を目指して多くの協働者とともに今日まで歩み続けてきた。
この歴史を検証し、働きを引き続き、今、わたしたちはイエスに倣って生きる

わたしたちは、いのちが大切にされる社会をつくりだす
わたしたちは、隣り人と共に生きる社会をつくりだす
わたしたちは、違いを認め合える社会をつくりだす
わたしたちは、自然が大切にされる社会をつくりだす
わたしたちは、平和をつくりだす

あかるいこども
げんきなこども
ただしこども

ひかりのことしてあゆみなさい
（エフェソの信徒への手紙 第5章8節より）

あかるいこども
あそびを通し、様々な経験をすることによって感性豊かに伸び伸びと育ちます。

げんきなこども
規則正しい生活を送りながら、健康で安全な基本的習慣を育みます。

ただしこども
人と人との関わりの中で、主体性を養い、優しい心、命を大切にする心を育みます。

一日の過ごし方

1・2歳児		3・4・5歳児	
早朝保育	7：00	早朝保育	
通常保育	9：00	通常保育	
	9：30	体操	
あそび	10：00	あそび	
昼食	11：00		
	11：30	昼食	
午睡	12：00		
	13：00	午睡	
おやつ	15：00	おやつ	
あそび	16：00	あそび	
延長保育	17：00	延長保育	
保育終了	19：00	保育終了	

環境について
環境保育により、自然に親しみ命や資源を大切にする意識を育てます

年間行事



誕生会



保育参加（運動遊び）

保護者参加の行事	
7月	夏祭り
9月	個人懇談（2歳児）
11月	保育参加（運動遊び）
12月	クリスマスお楽しみ会
3月	お別れ会
誕生月	誕生会
随時	保育参加（年1回）



社会福祉法人イエス団

2025年度版

くずは光の子保育園

くずは光の子保育園分園・地域子育て支援拠点事業

臨時保育室 園のしおり (重要事項説明書)



概要

設置主体

社会福祉法人イエス団

理事長 黒田 道郎

名称

くずは光の子保育園・くずは光の子保育園分園

園長 柴田 弘子

沿革

1954 年 社会福祉法人イエス団設立認可
初代理事長に賀川豊彦

1974 年 3 月 社会福祉法人イエス団
くずは光の子保育園の設立
大阪府知事より認可される

2002 年 3 月 新園舎完成

4 月 定員 90 名から 120 名に変更

2004 年 4 月 定員 120 名から 150 名に変更

2015 年 10 月 社会福祉法人イエス団
くずは光の子保育園分園 開園 定員 20 名
地域子育て支援拠点事業（おやこの広場）

2023 年 4 月 臨時保育室（りんご）開園 定員 15 名

定員

本園 150 名 分園 20 名 臨時保育室 15 名

保育時間

本園月～土曜日

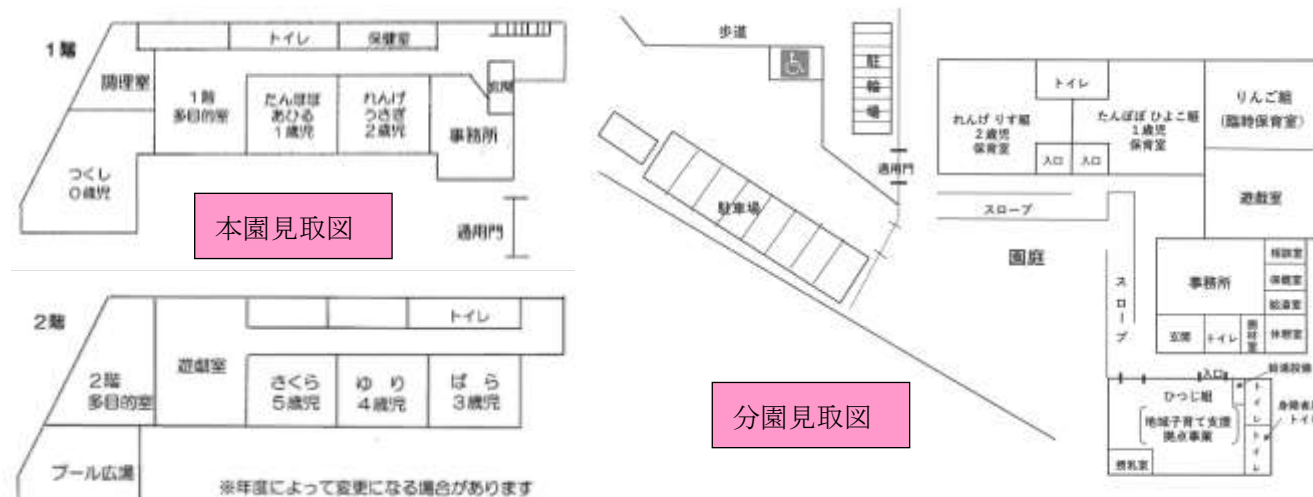
午前 7 時～午後 7 時 00 分

分園月～土曜日

午前 7 時～午後 7 時 00 分

休日

日曜日・祝日・年末年始



社会福祉法人イエス団

くずは光の子保育園

〒573-1111 枚方市楠葉朝日 1 丁目 22-10
TEL 072-856-8882 FAX 072-856-8895

くずは光の子保育園分園・地域子育て支援拠点事業・臨時保育室

〒573-1112 枚方市楠葉美咲 1 丁目 25-5
TEL 072-866-8200 FAX 072-866-8700



ひかりの子保育園 園歌「ひかりひかり」

1. ひかりひかり わたくしたちは ひかりのこども ひかりのように
あかるいこども いつもあかるく うたいましょう
2. ひかりひかり わたくしたちは ひかりのこども ひかりのように
げんきなこども いつもげんきで あそびましょう
3. ひかりひかり わたくしたちは ひかりのこども ひかりのように
たのしいこども いつもただしく はげみましょう

